

# 授業改善推進プラン

## 【都教育目標】

○互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間

○社会の一員として、社会に貢献しようとする人間

○自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

## 【市教育委員会教育目標】

子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指す。だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指す。

## 【学校の教育目標】

- ・正しく考え、進んで行動できる人。
- ・心とからだを鍛え、意志の強い人。
- ・芸術や科学を愛し、創造力の豊かな人。
- ・敬愛と協力を重んじ、責任を果たす人。

## 【地域・生徒の実態】

- ・各行事に積極的に取り組む生徒が多い。
- ・学習習慣の定着や、自ら考え主体的に行動する生徒の育成が期待される。
- ・学校・学級への関心や期待が高く協力的である。

## 【経営方針(学力向上に関すること)】

- ・一人一人が十分に学び、成長できる機会が与えられる学習環境を保证する。
- ・生徒が意欲をもち、方法を習いつつ、真に学ぶ姿勢が身に付けられる学習指導をすすめる。
- ・生徒が自ら問題を見つめ、自らの力で解決する力を育てる。

### ○各教科の指導の重点

- ・個々の生徒の発達状況をふまえ、基礎的・基本的な知識・技能を明確にし、指導法・評価法を改善し、生きるための学力を系統的に身に付ける。
- ・体験と結びつけた知識を重視し、共同的な探求学習を行うことを通して、思考力・判断力・表現力を伴った実践的な学力と、主体的な学習態度を身につける。
- ・オリンピック・パラリンピックに関連した授業を通して、体力の増進、運動能力の向上、健康な生活に対する意識の向上等を図る。
- ・英語教育の充実を通して外国の人とも積極的にコミュニケーションをとる態度を育てる。

### ○道徳教育の指導の重点

- ・学校生活のあらゆる場面でいじめや差別を許さないことを通して、生命・個性・人権を尊重する態度を育てる。
- ・ルールとマナーの学習を通して、規範を尊重した正しい行動が自主的にできるようにする。

### ○総合的な学習の時間の指導の重点

- ・学校テーマ「生きる」の取り組みを通して、課題を発見し、解決に向けた力を身に付ける。
- ・農業体験・職場体験を通して、働くことや学ぶことの意義を知り、自立への意識を高める。

## 【「確かな学力」の育成】

「確かな学力」を「生きる力」の知の側面として以下のようにとらえる。

「確かな学力」・・・

知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など

### ○特別活動の指導の重点

- ・生徒会活動・学校行事等を通して、通常学級との交流及び共同学習を進め、南中生としての帰属意識の向上を図る。
- ・近隣小学校及び地域との連携を通して、体験の幅を広げ規範意識や社会性を身に付ける。

### ○生活指導の重点

- ・言語での適切なコミュニケーションを通して、人間関係を主体的に形成する力を伸ばす。
- ・行事や学級の係活動を通して、集団での役割を学び、責任をもって意欲的に物事に取り組む姿勢を身に付ける。
- ・健康と安全に留意させることを通して、充実した生活を過ごすための基本的な習慣を身に付ける。特に情報モラルについては重点的に指導を行う。
- ・保護者や関連諸機関との連携協力を通して、規範を守り自主的に行動する態度を育てる。
- ・小・中同日に防災教育デーを設定し、小学校とも連携した安全教育を進める。身近な地域での自然災害を想定した指導を実施する。

### ○進路指導の重点

- ・働くことの意義や人との関わりの大切さを学ぶことを通して、将来の社会的・職業的自立を目指す。キャリア教育との関連を図る。

## 本学級の授業改善に向けた視点

### 指導内容・指導方法の工夫

- ・学習内容を精選し、反復を通して、基礎学力の定着を図る。
- ・具体的な体験を通して、基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。
- ・一人一人の生徒の特性にあった指導方法を常に工夫していく。
- ・「聞く・書く・話す」といった言葉の指導を重視し、事実に基づいて考える力を伸ばす。

### 教育課程編成上の工夫

- ・通常の学級に準じた時程を設定し授業時間を確保する。
- ・国語・社会・数学・英語では課題別グループ指導を実施する。
- ・教科の系統性を重視し基礎・基本や学習の技能の習得を図る。
- ・個別指導計画を作成し、個に応じた系統的な指導を行う。

### 研究や研修の工夫・小学校との連携

- ・教員相互の授業参観を日常的に行い、授業力向上をテーマとする研修を行い、チームとしての教育力を高める。
- ・小中合同研修会等を実施し、生徒理解・自立に向けた課題・指導法についての相互理解を深める。

### 評価活動の工夫

- ・学校生活支援シートや学期ごとの個別指導計画の作成、学期ごとの三者面談を行い、生徒の現状と課題を明らかにし、個に応じた評価を行う。
- ・生徒が学習をする上で励みや指針となるようなきめ細かい評価を行う。
- ・自己評価を取り入れ、生徒の自己肯定感を高める。

### 家庭や地域社会との連携

- ・保護者による常時参観、授業公開、面談等を実施し、保護者、地域と一体となった健全育成を目指す。
- ・南塾(地域ボランティアによる補習塾)との連携を深める。
- ・防災教育を地域・保護者・小学校一体となって進める。
- ・地域の人材を活用し、生徒に豊かな体験をさせる活動を1学期に1回行う。